



平成22年 夏号 NO.43



<http://nepal-mika.jp>

特定非営利活動法人

# ネパール・ミカの会

平成22年8月16日発行 194-0035東京都町田市忠生2-5-36 tel:042-791-0602



## “勝縁のネパール・ミカの会”

齋藤 謹也 理事長



法華経の寿量品偶の一節に

我此土安穩(がーしーどあんのん)  
天人常充滿(てんにんじょうじゅうまん)  
とあり、続いて  
衆生所遊樂(しょうじょうしよゆうらく)  
諸天撃天鼓(しょうてんきやくてんく)  
常作衆伎樂(じょうさしゅぎーがく)  
雨曼陀羅華(うーまんだーらーけ)  
散佛及大衆(さんぶつぎゆうだいしゅう)  
我浄土不殷(がーじょうどーふーき)

と美しい遇文が続きます。上のお経を読誦する度、整備が着々と進んでいるマヤ聖堂を中心としたネパールの聖地公園を思い出します。そして、ルンビニ地域に生まれた現代の子ども達の為に学校建設など教育支援にささやかでも、貢献させていただいている幸せを思います。この勝縁に出会っている私達。

前に一步一步とすすめていきましょう。とくに本年はシリ・シッダルト小中学校校舎建設資金募金(三年計画)の第一年度発足の年。新たな前に向かって歩みだそうとしています。これも幸せですね。よろしくお祈りします。

## 平成22年度定期総会

青沼 義信 副理事長



平成22年度特定非営利活動法人ネパール・ミカの会定期総会は、平成22年5月15日(土)午後5時30分より町田市民ホール第4会議室にて開催されました。

来賓として日ネ協会伊藤忠一会長をはじめ町田市議会川畑一隆議長、町田市社会福祉協議会佐々木のり会長、国際ソロプチミスト町田一さつき岡山佳恵会長代理、のご臨席を頂き、榎本理事の司会により今村副理事長が開会の辞、齋藤理事長の挨拶、続いて来賓の紹介および来賓よりそれぞれご挨拶をいただきました。

次いで議長に齋藤理事長、書記に大谷副理事長、署名人に中野理事及び加藤会員を選出、議長より本総会は出席者と委任状をあわせて全会員の過半数に達している為、総会は成立した旨を報告の後、議事に入りました。

### 議 事

1. 平成21年度事業報告(和田理事より)
2. 平成21年度収支決算報告(松浦理事より)
3. 平成22年度事業計画案(大谷副理事長より)
4. 平成22年度収支予算案(穂坂理事より)

以上が上程され審議の後満場一致で可決されました。

議事終了後ネパールから来日中のラマ理事より現地報告があり、青沼副理事長の閉会の辞により本総会は無事終了しました。

引き続き市民ホール食堂にて懇親会が開かれ会員の親睦を深めました。

## 「ラマさんと行く箱根の旅」

今村 旭 副理事長



毎年、ラマさんが楽しみにしている温泉旅行がネパール・ミカの会の定期総会に合わせ、今年も行われました。

今年の行き先は、箱根。ご存知のように、伊豆・箱根方面は近くて、日本でも有数の観光地であり、この時期の目にしみる新緑は、日常、忙しくしている会員の皆様にとっても、この上ない、楽しみの地でもあります。ネパールにもルンビニやタンセンといった樹木の多い、緑に恵まれた土地もありますが、何と言っても、芦ノ湖から臨む富士山はすばらしく、周囲は見事な緑の山々に囲まれた第一級の地上の楽園です。毎年のことながら、名幹事さんの手配で、参加者は、駅に集まれば、あとはいつもの流れで一泊二日がスタートしました。

5月17日(月)、町田駅に集合し、鉄道好きのラマさんお気に入りのロマンスカーで、男性8名、女性9名の合わせて17名のメンバーで旅の始まりです。

まず、昼食は、相模湾の海鮮定食をいただきました。フリーパスを使い、登山電車やロープウェイ、バスなどを乗り継ぎ、仙石原の湿生花園でハイキングをしました。草花に造詣が深い女性会員の多いことに驚きました。名前や特性を細かく説明を聞きながらの散策となりました。日・ネ協会の理事の方がこの湿生花園で仕事をされていて、ジュースの差し入れをいただき、ゆっくり休憩をしました。

この後、バスにて宿を目指しました。宿は伊東園ホテル・箱根湯本です。ボランティア団体には高級ホテルは似合わないのが気楽で安価なホテルを選びましたが、温泉は心地よく、皆が楽しいひと時を過ごすには十分なホテルでした。夕食はバイキング・飲み放題で、我々一行、17名は、幸いに全員で一箇所の食卓で食事ができました。各自、好みの飲み物で存分に楽しい夕食でした。特上のご馳走はなくても、みんなで食べる夕食は、楽しいものでした。

二次会も部屋に戻り、大きめの男性部屋の布団を片付けて、日頃のお愛の無い話題を時間を気にせず、眠くなった順に、一抜け、二抜けとなり、静かになったところで、就寝となりました。

二日目も快晴に恵まれました。フリーパスを使って、芦ノ湖を目指し、海賊船クルーズをして、湖を遊覧しました。昼食は、湖畔の食堂でのんびりと。今年は、ハイキングの時間が中途半端となってしまったため、ここで日程を終了し帰路につきました。バスに揺られて箱根湯本へ。小田原で流れ解散となりました。

今回の旅は、二日間とも晴天に恵まれ、新緑を存分に楽しみ、皆、英気を養えた旅となりました。幹事さんには、いつもご苦勞をおかけして、お世話になりますが、ミカの会も14年目を迎え、古参のメンバーはもう家族のような気分ではないでしょうか。夕食後の話し合いも、この紙面に書けない、色々な若い頃の面白い話題等もたくさんあり、人と人の結びつきが、より強固なものになっていると感じます。こうした絆が日常の会の活動に、大きなプラスとなっていることでしょう。残念ながら今回参加できなかった会員の方も、次回は是非、ご参加下さい。

また次回の「ラマさんと行く・・・」を期待しましょう。



## シッダルト募金が始まりました

穂坂 光紀

1人ひとりの地道な募金活動によってルンビニに校舎を建設するプロジェクトの第1弾「シッダルト募金」がいよいよ始まりました。活動開始から2ヶ月間のあいだに40名以上の方々が募金活動に参加して頂き、1年目の目標額である100万円まで確実に近づいております。改めて会員のみなさまの熱意が伝わり、力を合わせることの素晴らしさを実感しております。

シッダルト募金を始めたきっかけは、ネパール・ミカの会の原点である「ゆっくりと、ささやかに、真心込めて、手から手へ」という想いを会員全員が感じられる活動がしたいと思ったからです。

ネパール・ミカの会はルンビニ地区で多くの学校の校舎の増設・修復支援をしてきました。ミカの会の活動によってルンビニ地区においてたくさんの子供たちが就学の機会を得て、立派な青年へと成長しています。それは私たちにとって大変誇らしいことであり、今後もルンビニ地区に対して継続的な支援をしてあげられればと思います。

ところが、今までの校舎建設は行政や他のボランティア団体からの助成金によるものが多く、会員の方々が「自分の活動によってネパールに学校ができた」とはなかなか実感し難いものでした。

そこで会員の1人ひとりが、自分の周りの人たちにネパールの現状や、教育の必要性を伝えて募金を集め、その支援金でネパールに学校を造ることで本当の意味での「手から手へ」を感じることができる活動をしようと考えたのです。

実際に私たちの周りには、何か世の中のために役に立てたらと思いながら、具体的には何をしたら良いのかを見つけない方が多くいます。その人たちに「ルンビニ地区には学ぶための校舎を必要としている子供たちがいる」と伝えるだけでもそれは立派な社会貢献活動です。

このシッダルト募金活動を通じて1人でも多くの人がネパールの、そしてルンビニ地区のことを知り、そして1人でも多くの人の手で、未来の子供たちの手へ勉強する機会をプレゼントしてあげられたらと思います。

今後、シッダルト募金の進行状況等につきましてはホームページで適宜お伝えするとともに、毎回の会報で「シッダルト通信」でお伝えしていきたいと思っています。会員のみなさま1人ひとりのご理解とご協力をいただければ幸いです。

## 忙しく楽しかった韓国旅行

中野 千恵子



ラマさんが来日した折、日本より韓国に行く聞き、私は一番近い国に行ったことがなかったので同行させていただきました。一度は行こうと思っていた



ので、良いチャンスと思い、期限の少ないパスポート申請を慌てて行い、妹を誘い加藤さん、ラマさん、私と4人で6月2日羽田を飛び立ちました。

沖縄へ行くより近く2時間位で韓国金浦国際空港に着きました。金浦空港の出口で、送迎の人が見当らずキョロキョロしていたら大勢の人々やカメラマンが私達が邪魔そうなのです。何かと思ったら有名な人が同じ飛行機で来たらしいのです。

良く見てみると帽子とサングラスをかけた男性が大勢の人に囲まれていました。又、私の右横を小柄で綺麗な女性がガードマンに囲まれて通り過ぎていきました。

迎えに来たガイドさんがイ・ビョンホンさんとキム・テヒさんと教えてくれました。

バスの中から見るソウルは片側6車線の道などあったり、ビルの建て方も日本とは違い形にとらわれない面白いビルが多いです。そして、高層ビルのあちこちにはビジョンがあり、映像を流しているのです。又、花々もきれいに手入れがされていて、気持ちが良いです。

バスはロッテの免税店に行きました。私も頼まれていたBBクリーム、韓国海苔を買いました。一安心。次にバスは2泊するコリアナホテル向いました。ホテルはソウルシティの傍で観光にはとても良い位置に



ありました。これから、私達は送迎まで自由です。チェックイン後、荷物を置いただけで景福宮(ギョンボクン)方面に歩き始めました。今日は選挙の為、休日ようです。子供達は道の中央にある芝生や噴水で遊んでいます。

写真を撮ったりして、やっと光化門に着いたのですが、入り口は工事中。右側へ回り門を捜し入ったが残念ながら、閉門間近で、衛兵の交代式も見られないので、2日後に来る事にし、今度は昌徳宮(チャンドクン)に向け歩き始めました。

20分位で着くはずが遠く、人に聞いて横道に入ったが若い女性たちがぞろぞろ歩いていて学生の町の様。とても雰囲気の良い町並み。

やっと昌徳宮の入り口に着いたがやはり閉門でした。

近い仁寺洞(インサドン)で食事をする事にして雑踏の人々の中に入っていった。雑貨屋、アクセサリーの店など歩道の方まで店を出しています。私達が通ると日本語で話しかけてくるのには驚き、韓国人とは同じアジア人なのによく解かるなあ・・と思います。何軒の食堂を覗き、やっと1軒のお店に入りましたが、焼肉屋なのに鉄板はないし、メニューを見ながら注文。しかし、出てきたのは色々な物。お肉はナベの中に汁が入っているのを店員さんが煮ているし。セットのビビンバは美味しかった。

ホテルに戻り、10分後に集合し、今度は南山のソウルタワーへ。

タクシーで10分位。価格は300円程度。安くて驚きです。

ソウルタワーはケーブルカー、エレベーターを乗り継ぐのです。休日だからか、結構混んでいて時間がかかりました。しかし、夜景を見て納得。

帰りのタクシーは価格が8倍位高いので疲れた足を引きずりながら、下の町まで歩きました。やっと、一般タクシーに乗りホテルへ。

二日目。朝、7時に男性たちに電話すると、朝早く下見をしてきたとの事。すごい。

朝食は徳寿宮(トクスグン)のそばのダンキンドーナ

ツツでドーナツとドリンク。

今日は水原(スウォン)へ電車で行く事になった。

ツアーではなく自分達で探しながら行くのは楽しい。駅でオレンジ色の保障付のカードを500ウォンで買い、後は水原まで買うのだ。1700ウォン。でも、買い方が解からなく傍にいた方が教えてくれた。

一時間位で到着。駅そばの観光案内所で日本語のわかる人がいるので、一日の過ごし方、焼肉昼食の美味しいところ等、聞きその通りに行動する事にした。タクシーで華城に行き、龍のミニ電車に乗り、水原で有名な焼肉を食べ、又、駅に戻り

韓国民族村行きのシャトルバスに乗車しました。民族村は昔の農村や地方の民家が広い敷地内にあるのです。蚕の糸で織物をしていたり、馬、ヤギ、犬が飼われていたり、キムチの瓶が並んでいたり、木々が多い中、静かで気持ち良かったです。

私と妹がソウルで19時にアカスリの予約をしていたので、16時発のシャトルバスに乗り駅に戻り、又、電車でソウルに戻ってきました。

アカスリも説明とは少し異なり、帰りのバスもなかなか来なく、ホテルに戻ったのは、23時になってしまいました。

男性たちは夕食を待っていてくれました。ホテル近くのレストランで簡単な食事をとり長い一日が終わりました。



三日目。南大門方面にタクシーで南大門の卸問屋街を見学。明洞まで歩いたのですが、朝、早いのでお店は閉まっていました。又、後で来る事にして、スターバックスで朝食。地図を見るとホテルまで歩けると判断し又歩く。やっとホテルの傍にきても、横断歩道がないので、地下道を探すのに時間がかかる。ホテルに戻り、10分後に集まり、最初の日に行けなかった景福宮に急ぐ。10時の衛兵交代式を見るために。近くまで来たら、太鼓の音が聞こえたので走る。

何とか間に合い見学。念願がかなった。宮の中を見学後、ホテルに戻り、チェックアウトをした上、再度、

明洞にタクシーに乗る。ところが道が混んでいて進まない。時間がないのであせる。やっと、明洞に着いたが、コスメ、洋服屋など余り見られない、時間がないのだ。疲れたので、皆でアイスを食べる。

ホテルには13時15分に迎えにくるので、行きにタクシーに乗って懲りたので、又歩く。あっちだ。こっちだ。と言いながら、やっと、ホテルが見えホッとした。一分遅れの13時16分着。

飛行場行きの送迎バスに乗り、忙しく楽しかった2泊3日が終わりました。

まだまだ、行きたいところがあるので、又、遊びに来たいと思いました。

ラマさんもきっと心に残る旅になったでしょう。ありがとう。

「韓国旅行レポートでの写真は加藤氏より提供」

## ラマさんから「ナマステ」

下の写真は今年の来日時ジャンモさんと「ぽっぽ町田」にて



Thursday, July 29, 2010

ナマステ

ご無沙汰しております。田舎から帰ってきました。2週間ぐらいの予定で行っていたのですが、用事がちょっと伸びたり天気が悪く飛行機が来なかったりして5週間過ぎてしまいました。田舎のほうは涼し

たです。帰りは歩いて帰りました。3750mの峠を越えて子どもをせおって三日歩きました。カトマンズは今年まだ雨が少ないです。ルンビニの方は雨もよく降ったそうです。

田植えも終わりました。

ビラルハワ小中校の校舎は雨が少なくなった上で建設始めたいのです。松浦さんにも今円のレートがいいので送金頼みました。

暑いところミカの会のいろいろな手続き大変お疲れ様です。

会員の皆様によろしく。

ヌルブラマ

下の写真は今年の来日時ジャンモさんと「ぽっぽ町田」にて



↓ラマさんからルンビニの写真



August 04, 2010

ご無沙汰しております。とても暑い中ミカの会のいろいろな活動大変お疲れ様です。今カトマンズも気温が33度ぐらいです。時々雨も降っていますので夜はあまり暑くないです。今年はずっとより雨が少ないです。こちらはまだ1日8時間の停電が続いています。

EMS 便受け取りました。ありがとうございました。ルンビニはまだ行ってないのですが、ビラルハワの校長先生には連絡しましたが、まだ道路は車が通れそうもないみたいです。会員の皆様によろしく。

ヌルブラマ

# シリ・シッダルト小中学校増設支援事業

シリ・シッダルト小中学校増設支援事業は周知のとおり以下のパンフレットが配布され、同時にたくさんの募金が集まりました。この事業に関しては実行委員会が設立され実行委員長に穂坂光紀氏が就任しました。募金の詳細についてまた質問等は穂坂実行委員長へお問い合わせください。



シリ・シッダルト小中学校の子供たちに学ぶ喜びを伝えたい・・・

**「シリ・シッダルト小中学校増設支援事業」第一期スポンサー募集**

募集期間 平成22年5月1日～平成23年3月31日

募金目標：100万円

一口金額：2,000円

工事目標：4教室のうち校舎基礎と1教室

【正式学校名】シリ・シッダルト パール ニケタン ケダル バンデ 小中学校

【生徒総数】男子 187名 女子 250名 合計 437名 (2009年現在)

【増設目標】既存校6教室に4教室を増設します。

【総工費】260万円(事業運営費を含む)

【工期】平成22年5月1日～平成25年3月31日の3年間を3期にわけて支援します。

【シリ・シッダルト小中学校とは】インドとの国境、バヤラの街からルンビニ公園に向かう街道沿いにシッダルト小中学校があります。生徒数は437名ですが、既存の5教室では足りず、隣接する村の集会場を教室がわりに使っています。街から近いため周辺にはまだ多くの未就学の子供たちがいますが、現状の教室数では新たな受け入れができません。校長であるミラス氏は、村の子供たちの就学率と学力を向上させることで、子供たちが将来、街で立派に働けるようにしたいと熱心に語り、村の人々の協力を募って数年後には高校を作る計画を立てています。そこでミカの会では「手から手へ」という理念のもと、地道な募金活動によって、シッダルト小中学校の就学率向上のために新たに4教室を増設支援します。

ネパールでは多くの子供が木の下の授業を受けています。

既存の校舎は老朽化が進み、修繕できなまま放棄されています。

特定非営利活動法人 ネパール・ミカの会  
東京都目黒区中目黒2-5-36 ごねびの館  
TEL 042-781-0802 FAX 042-789-7388  
理事長 穂坂 光紀

☆詳しい話を聞きたい方はこちらへ☆  
ネパール・ミカの会 事務局  
事務局長 大谷 安宏  
TEL / FAX 042-726-1762  
URL : <http://www.npsal-mika.jp>

校舎増設支援スポンサーにご協力いただける方は裏面をご覧ください

NPO法人 ネパール・ミカの会

**「シリ・シッダルト小中学校増設支援事業」**

みんなでシッダルト小中学校のスポンサーになりましょう！

【事業計画概要】「シリ・シッダルト・パール・ニケタン・ケダル・バンデ小中学校増設支援事業」

【総工費】260万円(事業運営費を含む)

【募集期間】第一期 平成22年5月1日～平成23年3月31日 募金目標 100万円  
第二期 平成23年4月1日～平成24年3月31日 募金目標 100万円  
第三期 平成24年4月1日～平成25年3月31日 募金目標 60万円

【増設目標】既存教室5教室に4教室を増設します。

【工期と完成予定】第一期 募金目標が達成次第 校舎基礎と1教室を完成させます。  
第二期 募金目標が達成次第 校舎2教室を完成させます。  
第三期 募金目標が達成次第 校舎1教室及び内装、外観を完成させます。

※募金目標に達した時点で着工をしますので募金状況によって工期が前後することがあります。

現在のシリ・シッダルト小中学校

↑新規4教室を増設  
既存教室  
↓既存教室

集会場(一部を教室として使用)↓  
完成予定図

皆さまから頂いた支援金はミカの会が責任をもって校舎建設に使わせて頂きます。事業経過はホームページ等で適宜ご報告させていただきます。

●全期間を通じて25口(5万円)以上ご支援頂いた方は、記念プレートにお名前が刻まれ、シッダルト小中学校の校舎にずっと残ります。

●全期間を通じて10口(2万円)以上ご支援頂いた方はミカの会より感謝状を贈らせて頂くとともに、全教室完成の際には落成式にご参加いただくことができます。(参加費用は自己負担となります。)

【支援金の振り込みについて】  
大変お手数ですが、支援者名簿を作成する都合上、支援金の振込につきましては、同封の郵便振替用紙をご使用いただくか、もしくは郵便振替用紙の通信欄に「シッダルト支援」と記載下さい。  
(※記載がない場合は支援者名簿に記入されない場合があります。)

【振込口座】  
口座番号 00160 - 2 - 413918  
口座名義 特定非営利活動法人 ネパール・ミカの会

第13次支援の旅 ティナワ小学校記念プレート

落成式には多くの子供から歓迎を受けます。

みなさまの支援を持っている子供たちがいます。

NPO法人 ネパール・ミカの会

# 事務局便り

和田 泰子

今年の夏は猛暑続き。夏の疲れが出る頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

7月は移動例会と暑気払いの懇親会がありました。19名という、いつもより少ない参加でしたが、高校生の方が2名入会し一緒に懇談するといううれしい懇親会になりました。これから秋に向けて沢山のバザーがあります。リサイクル品、ご不用の贈答品等ありましたら、ご寄付をお願いいたします。会員の皆さまのご協力ご参加をお待ちしています。

## イベント予定

- 9月5日(日) 栄通りフェスタ  
パンダ駐車場
- 10月9・10日(土・日) 町田大道芸  
パークアベニュー野村證券前
- 10月16・17日(土・日) 横浜国際フェスタ  
パシフィコ横浜
- 10月24日(日) 相模原国際交流フェスタ  
淵野辺 大野北公民館
- 10月31日(日) 夢広場  
ぽっぽ町田
- 11月6日(土) ボラ連協福祉バザー  
ぽっぽ町田
- 12月18日(土) 移動例会  
市民フォーラム4階  
忘年会  
会場未定

# 編集後記

会報本号は本来なら7月に発行する予定でしたが、編集人の諸事情で8月の発行となりましたこと深くお詫びいたします。また次号は10月の予定ですが、編集人の都合で発行が大変厳しい状態となっています。不行き届きの点大変申し訳なく思っています。

また昨年経費削減の折、会報発行では写真掲載でインクを多く使用しているとご指摘がございましたが、今号はK氏の提案で初面にてご案内した通り初面と終面のみカラー印刷で中面はモノクロとさせていただきます。

この夏は編集人の頭の中身が諸々と多くのことが錯乱していて猛暑と重なり脳味噌が沸騰しています。会報の編集を終えて次は秋のイベントが幾つか控えています。11月末まではタイヘンダー。

(WESTEAST)